

# 代 替 償 却 資 産 対 照 表

(「平成30年7月豪雨に係る被災代替償却資産特例申告書」用)

※年号:昭和=3、平成=4、令和=5

1枚のうち
1枚目

被災償却資産 [課税台帳登録資産]												代替償却資産										
所有者名		東広島 一郎										所有者名		東広島 一郎								
資産の 種類	資産コード (キーコード 含む)	資産の名称等	数 量	取得年月			取得価額 (円)	耐用 年数	資産の 種類	資産コード (キーコード 含む)	資産の名称等	数 量	取得年月			取得価額 (円)	耐用 年数	適 要				
				年 号	年	月							年 号	年	月							
1		アスファルト舗装	1	4	15	1,500,000	10			アスファルト舗装	1	4	30	10	1,800,000	10						
2		太陽光発電設備	1	4	28	5,000,000	17			太陽光発電設備	1	4	30	10	4,000,000	17						
2		溶接機	1	4	28	500,000	10			溶接機	1	4	30	10	500,000	10						
6		複合機	1	4	26	1,200,000	5			複合機	1	4	30	10	1,000,000	5						
				計		8,200,000						計		7,300,000								

[記載上の留意事項]

- (1) 本対照表は、地方税法第349条の3の4の規定による償却資産の代替資産に対する課税標準の特例を適用するため、被災代替償却資産特例申告書に添えて提出していただくものです。
- (2) 左側「被災償却資産」欄には、平成30年7月豪雨に伴い滅失・損壊した償却資産を記載してください。  
右側「代替償却資産」欄には、当該滅失・損壊した償却資産の代わるものとして取得又は改良した償却資産について記載してください。
- (3) 右側「代替償却資産」欄には、償却資産申告書に添付する種類別明細書(増加資産・全資産用/第26号様式別表1)の資産の行ごとに記載してください。
- (4) 資産の名称で、使用目的・用途の判断ができないものについては、摘要欄にその使用目的・用途等を記載してください。

※ 用紙が不足する場合はコピーして記載してください。

## 記載要領

「被災償却資産〔課税台帳登録資産〕」及び「代替償却資産」

### 1 所有者名

被災償却資産及び代替償却資産それぞれの所有者名を記載してください。

### 2 資産の種類

被災償却資産及び代替償却資産それぞれの資産の種類を記載してください。

### 3 資産コード

(1) 被災償却資産側の欄には、「平成30年度種類別明細書」等を参照して、資産コードを記載してください。

自社電算の場合は、償却資産申告書・種類別明細書に記載している自社の資産コードを記載していただいて構いません。

(2) 代替償却資産側の欄には、代替償却資産に対し最初に固定資産税を課されることとなった年度における償却資産申告の際に、種類別明細書に記載する資産コードと同じものを記載してください。

原則、新規取得資産として償却資産申告書を作成いただく際に、種類別明細書に記載する資産コードと同じものとなりますので、申告書（種類別明細書）と本対照表の両方を同内容で記載のうえ提出してください。

### 4 資産の名称等・数量・取得年月・取得価額・耐用年数

被災償却資産及び代替償却資産それぞれの資産の名称等、数量、取得年月、取得価額及び耐用年数を記載してください。